

学会員各位

2018年10月25日

中等社会科教育学会
会長 伊藤 純郎

中等社会科教育学会 第37回 全国研究大会のご案内

紅葉の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
この度、中等社会科教育学会第37回全国研究大会を下記の通り開催いたします。学会員の皆様はもとより、社会科教育に関心をお持ちの方々も広くお誘いいただき、多数ご参会くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 期日：2018年11月18日(日)
2. 会場：筑波大学東京キャンパス(東京都文京区大塚 3-29-1)
3. スケジュール：

9:30	10:00	12:00	13:00	14:15	14:30	16:30	16:40	17:00
受付	自由研究発表		大学院生による 模擬授業		シンポジウム			総会

◆自由研究発表—第1分科会

会場 117 教室 (10:00~11:30)

- (1) 「歴史の脱構築論」に基づいた歴史学習の可能性—歴史用語の捉え直しを図る学習形態—
佐藤 光一 (筑波大学大学院)
- (2) 切実性を持たせる社会科防災学習の展開—高校生の防災意識に関する調査をもとに—
渡辺 裕明 (筑波大学大学院)
- (3) 歴史教育における考古学の可能性—主体的学び及び合教科の実践を中心に—
竹田 和夫 (新潟県立新発田高等学校)

◆自由研究発表—第2分科会

会場 119 教室 (10:00~12:00)

- (1) 倫理的消費者を育成する中学校公民的分野カリキュラム開発—「食品ロス」を軸にした消費者教育の観点から—
小林 かおり (筑波大学大学院)
- (2) 社会科教科書研究における計量テキスト分析の提案—「現代社会」教科書の「選挙」の取扱いを事例に—
大脇 和志 (筑波大学大学院)
- (3) 野外調査を生かした探究的学びの実践
金田 啓珠 (山形県立長井高等学校)
- (4) 公民科に関わる課題研究の指導—「よりよい公園についての研究」を事例に—
小貫 篤 (筑波大学附属駒場中・高等学校教諭)
石井 秀俊 (筑波大学附属駒場高等学校3年)

◆模擬授業とその検討

会場 119 教室 (13:00~14:15)

中等社会科に関する模擬授業を実施するとともに、その検討を通して、参加者の授業スキルの向上を目的とした企画である。この趣旨にしたがい、筑波大学大学院生の模擬授業を実施する。

筑波大学大学院修士課程教育研究科では、平成 18-19 年度の 2 ヶ年にわたり、文部科学省より「資質の高い教員養成推進プログラム」の補助金支援を受け、「高度な授業力育成のための授業開発」を展開した。文部科学省の補助金支援は平成 19 年度で終わったが、その教育効果は大きいと考え、以降も引き続き、大学院生が現場で実験授業を行う取り組みを実施してきた。

参加者全員で、望ましい中等社会科実践のあり方について協議してみたい。

模擬授業

単元名 : イギリス産業革命と労働問題

授業の要旨 : 本実践の目的は、「持続可能な社会」の実現を志向する生徒を育成することである。本実践で想定する「持続可能な社会」とは、資本家と労働者が連携して労働環境をよりよい方向へと導く社会である。本実践では、資本家と労働者の関係が生まれたイギリスの産業革命期に着目し、当時の労働問題を題材に二時間の小単元を開発した。当日は、授業者が考案した産業革命ゲームを再現するとともに、実践校の生徒の記述内容の分析から本実践の成果と課題の一端を示したい。

授業者 : 渡邊 和彦、永吉 航、宮坂 幸恵、李 花子(筑波大学大学院)

◆シンポジウム

会場 119 教室 (14:30~16:30)

テーマ : 高校新科目の可能性と課題

コーディネーター : 唐木 清志 (筑波大学)

シンポジスト

- ・「高校新科目の可能性と課題－「地理総合」の場合－」
泉 貴久 (専修大学松戸高等学校)
- ・「高校新科目の可能性と課題－「歴史総合」の場合－」
中尾 敏朗 (群馬大学)
- ・「高校新科目の可能性と課題－「公共」の場合－」
山本 智也 (筑波大学附属駒場中・高等学校)

コメンテーター : 井田 仁康 (筑波大学)

シンポジウム趣旨 :

<趣旨>

小学校と中学校に続き、高校においても学習指導要領並びにその解説が公表され、教育改革の動きが活発なものとなってきた。高校の場合、新学習指導要領は、2022 年度から実施されることになる。さて、新学習指導要領の目玉は、高校の社会系教科目に関して言えば、「地理総合」「歴史総合」「公共」の新科目の創設である。

本シンポジウムでは、地理教育、歴史教育、公民教育に携わる研究者或いは実践家に登壇いただき、それぞれ「地理総合」「歴史総合」「公共」の可能性と課題について発表していただく。3名の発表に基づき、高校の社会系教科目の役割は何か、さらには、地理と歴史と公民の連携はどのように図られるのか、こういったことに議論が深まっていくことを期待したい。

◆総 会

会場 119 教室 (16:40~17:00)

《大会参加要項》

1. 参加費 ご参加の方には、参加費として1,000円をお支払いいただきます。
2. 懇親会 懇親会はありません。
3. 昼食 近くのコンビニや飲食店をご利用ください。
4. 学会費 学会費を未納の方は、学会費のお支払い(一般会員 3,000円)を当日にお願い申し上げます。
5. お問い合わせ 〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学人間系 中等社会科教育学会事務局
E-mail: chuushagaku@yahoo.co.jp

《筑波大学東京キャンパスまでの交通アクセス》

住所：〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1
(東京メトロ丸の内線 茗荷谷駅下車 徒歩5分)



学会員執筆の本が2015年に刊行!!!

『中等社会科 21世紀型の授業実践—中学校・高等学校の授業改善への提言—』

21名の中等社会科教育学会会員の執筆により2015年に刊行いたしました『中等社会科 21世紀型の授業実践』(学事出版)を、当日、学会員の方に2割引きで販売いたします。すでに版元の学事出版社では売り切れとなっております。ぜひこの機会にお求めください。